

2015年4月16日

証券コード 9948
東証第1部、札幌



株式会社 アークス

2015年2月期 決算説明会



地方創生の実験店として2014年7月にオープンした
スーパーアークス室蘭中央店(株ラルズ)

2014年11月に開店したユニバース軽米店
(旧三光ストア軽米店を建替)



2014年9月にグループ入りした(株)ベルプラスの
新店:ビッグハウス矢巾店(2015年3月開店)



株式会社アークス

代表取締役社長 横山 清

2015年2月期 業績サマリー 2016年2月期 業績予想

- (1) 損益計算書
- (2) ポイント引当金繰入額の追加計上を除いた
2015年2月期の業績
- (3) 主要5社の状況
- (4) 貸借対照表
- (5) 2016年2月期 業績予想

株式会社アークス
取締役常務執行役員
古川 公一

(1) 損益計算書

Always Rising Community Service

◆ベルプラスとの経営統合により増収、かつ当期純利益が大幅増◆

	金額	前年差	前年比	予算差	予算比
売上高	4,703 億円	159.1 億円	103.5 %	△96.8 億円	98.0 %
営業利益	127 億円	△7.2 億円	94.6 %	△11.8 億円	91.5 %
経常利益	142 億円	△3.9 億円	97.3 %	△12.0 億円	92.2 %
当期純利益	94 億円	30.9 億円	148.6 %	△5.2 億円	94.8 %

●売上高

- ✓既存店売上高・前年比は98.7%、全体ではベルプラス統合効果等により前年比103.5%と増収
- ✓ベルプラスは既存店売上高・前年比101.6%と好調(6カ月間)

●営業利益・経常利益

- ✓ポイント引当金の見積方法を変更したこと等により、キャッシュアウトを伴わないポイント引当金繰入額を10億円追加(3Q:営業外費用3億円、4Q:販管費7億円)。今後のカード会員増加やポイント使用実績の増加を見据えた対応
- ✓ラルズが営業外収益に貸倒引当金(預託敷金)の戻入益等4.8億円を計上

●当期純利益

- ✓ベルプラスとの経営統合により負ののれん発生益24.7億円、段階取得差益4.3億円を計上
- ✓前年2Qに計上したラルズ課徴金の反動増12.8億円

(2)ポイント引当金繰入額の追加計上(※)を除いた 2015年2月期の業績



Always Rising Community Service

(単位:百万円)

	実績	前年差	前年比	予算差	予算比
売上高	470,310	15,919	103.5%	△9,689	98.0%
売上総利益	114,681	5,617	105.2%	△1,368	98.8%
販管費	101,253	5,625	105.9%	△896	99.1%
営業利益	13,427	△7	99.9%	△472	96.6%
経常利益	15,305	616	104.2%	△194	98.7%

(※)ポイント引当金繰入額の追加計上は、販管費715百万円、営業外費用300百万円、合計で1,015百万円

(3) 主要5社の状況

- ラルズ
 - ✓ ラルズプラザの閉店、スーパーアークス室蘭中央店の開店、酒販部門の直営化など、総攻撃を実施。
 - ✓ 経常利益は前年差+147百万円、予算差△424百万円だったが、特殊要因（ポイント引当金繰入額追加分、酒販部門の半期分、貸倒引当金戻入益等）を除いた前年差でも+146百万円と増益。
- ユニバース
 - ✓ リッツコーポレーションを3月に子会社化し、売上高前年比は102.5%。同社の設備投資・のれん償却により経常利益の前年比は97.6%と増収減益。予算比は売上高98.9%、経常利益104.4%とほぼ計画通りに進捗。
- 福原
 - ✓ 釧路地区を中心とする競争激化や冬の猛吹雪の影響等により、前年比は売上高96.6%、経常利益80.2%と減収減益であったが、経常利益率は3.0%を確保。
- 道北アークス
 - ✓ 販促の見直し等により売上総利益率22.3%と、前年より+1.1Pt改善。売上高は前年比98.6%と微減だったが、売上総利益率の大幅改善により、営業利益（前年差+97百万円、前年比108.2%）、経常利益（同+89百万円、同106.8%）ともに増益。
- 東光ストア
 - ✓ 売上高の前年比は99.1%、好調だった前年には届かなかったが、前々年比では100.6%。
 - ✓ 経常利益も同様に前年比92.7%、前々年比101.6%。特殊要因（ポイント引当金繰入額の追加分）を控除すると、前年比100.1%。

(4) 貸借対照表

Always Rising Community Service

総資産	2,013億円	(前期末比 113.4%、前期末差 237億円)
純資産	1,194億円	(前期末比 108.5%、前期末差 93億円)
自己資本比率	58.7%	(前期末 62.0%、前期末差 △3.3Pt)
有利子負債	134億円	(前期末比 106.1%、前期末差 7億円)

●現金同等物は前期末より99億円増加し、332億円

✓ 株主還元、設備投資、M&A、内部留保へ充当

→ 期末配当金を当初予想より2円増配し、年間配当金は42円(前期差+2円)

自己株式1,000,000株取得(2014年10月)。発行済株式総数に対する割合は1.76%

●発行済株式数は、ベルプラスとの経営統合により前期末より1,059千株増加し、56,650千株

●株価、時価総額

✓ 株価

2014年2月期末 1,869円 → 2015年2月末 2,455円 → 直近(2015.4.10) 2,842円

2015年3月27日 2,953円 東証上場来最高値を更新

✓ 時価総額

前期(2014年2月期)末 1,039億円 → 当期(2015年2月期)末 1,390億円 → 直近(2015.4.10) 1,610億円

(5) 2016年2月期 業績予想



Always Rising Community Service

ベルプラスの通年寄与により 売上高5,000億円を突破

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
既存アークスグループ 業績予想	金額	459,356	13,295	14,820	6,501
	前年差	8,853	903	922	396
	前年比	102.0%	107.3%	106.6%	106.5%
ベルプラス業績予想	金額	43,643	704	880	498
	前年差	23,835	384	487	34
負ののれん発生益 段階取得差益	前年差	—	—	—	(※1) △2,906
連結業績予想	金額	503,000	14,000	15,700	7,000
	前年差	32,689	1,287	1,409	△2,475
	前年比	107.0%	110.1%	109.9%	73.9%

(※1) 2,906百万円の内訳: 負ののれん発生益2,475百万円、段階取得差益430百万円

(※2) 設備投資額: 2015年2月期実績8,871百万円、2016年2月期見込み10,883百万円

アークスグループの取り組み

- (1) 北海道・東北地方の事業環境
- (2) 2015年2月期の「総攻撃」
- (3) 北海道・北東北のシェア
- (4) 高志信頼団結で一兆円を目指す

株式会社アークス

代表取締役社長 横山 清

(1) 北海道・東北地方の事業環境



Always Rising Community Service

●消費増税後の大都市と地方の環境の差

✓消費者は6～7月頃から財布の紐を締め始めた？

著名なエコノミストが「6月消費変調説を最初に指摘したのは北海道を地盤とするスーパーの社長」と指摘

✓北海道は2014年11月より電気料金の再値上げ(家庭用15.33%、企業向20.32%値上げ)

✓大都市と地方の賃金水準の格差

✓ディスカウントストア出店による価格競争 (トライアルが北海道に新築で7店出店)

✓夏の天候不順と、冬の猛吹雪(福原・道東ラルズ・篠原商店)

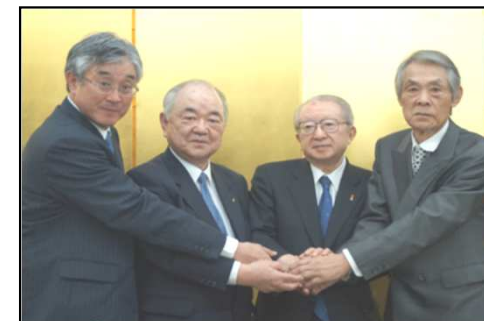
●コストアップ

✓エネルギーコスト・円安等の諸経費負担増に伴う仕入価格の遡増

✓資材高止まり、人件費増等による建設コストの上昇

(2) 2015年2月期の「総攻撃」

- **ベルプラスとの経営統合** (2014年9月)
東北エリアの営業体制強化
- **リッツコーポレーションを子会社化** (2014年3月、ユニバース)、
その後 吸収合併 (同年9月)、4店舗を建替・増床 (2Q~4Q)
- **プラザ札幌店を閉店** (2014年6月、ラルズ)
賃貸借契約の終了を機に閉店
消費動向の変化に対応し、経営資源を新店へ
- **スーパーアークス室蘭中央店を開店** (2014年7月、ラルズ)
地方都市における新しい店舗の形態 (地方創生の実験店)
- **酒販部門の直営化** (2014年9月、ラルズ)
食品売り場と連携した一層の販売力強化
- **スーパーアークス大縄店を開店** (2014年12月、道南ラルズ)
道南ラルズ6年ぶりの新店
北海道新幹線開業を見据え函館エリアを強化



2014年3月 ベルプラスとの
基本合意記者発表



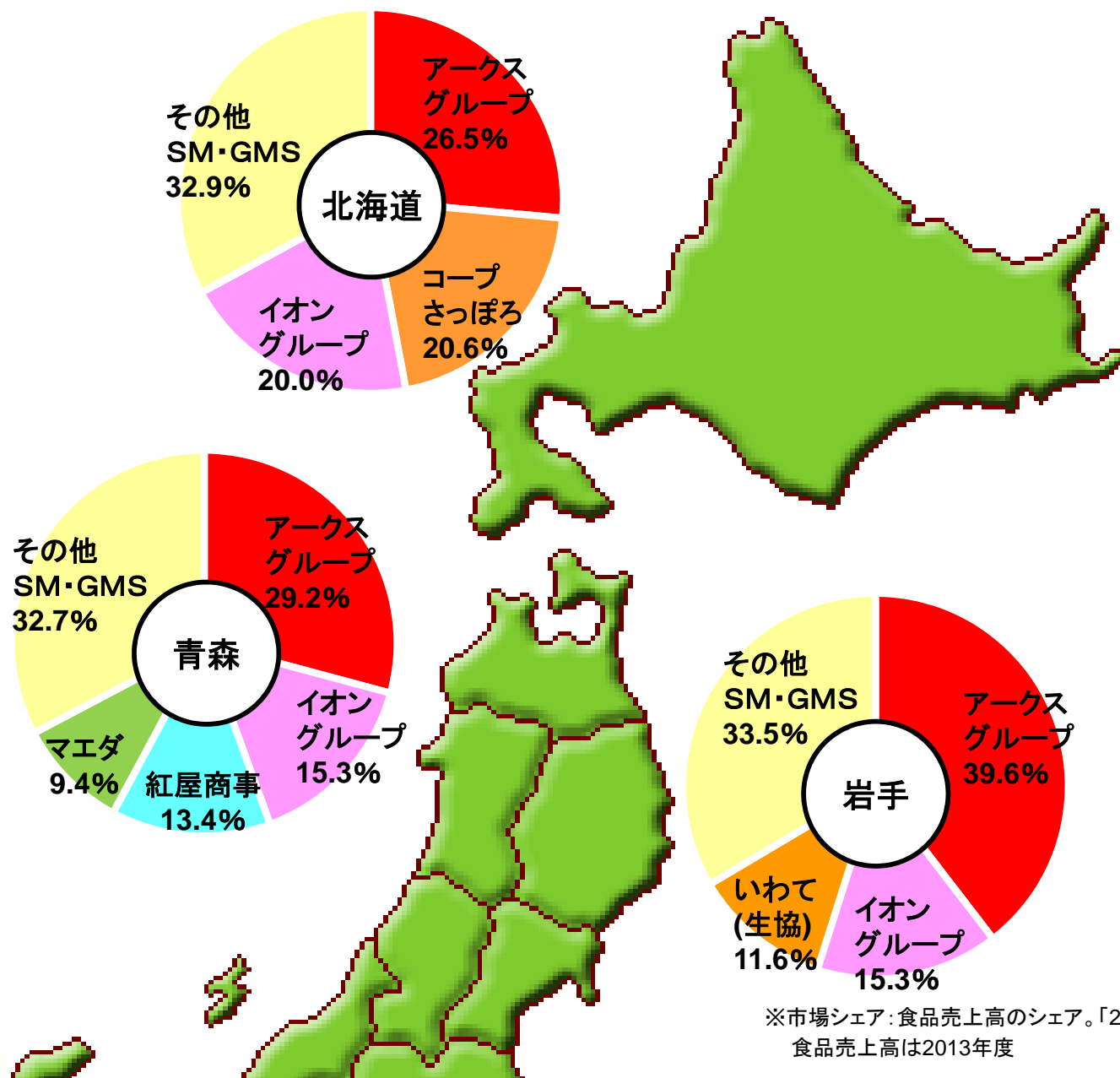
2014年6月 プラザ札幌店 閉店



2014年7月 スーパーアークス
室蘭中央店 開店

(3) 北海道・北東北のシェア

Always Rising Community Service



道県別の店舗展開

	シェア	店舗数
北海道	26.5%	204店
青森県	29.2%	36店
岩手県	39.6%	69店
その他	—	秋田県2店 宮城県8店
東北地方	—	115店
合計	—	319店

※市場シェア: 食品売上高のシェア。「2014 食品スーパーマーケット年鑑」を元に当社推計
食品売上高は2013年度

(4) 高志信頼団結で一兆円を目指す



Always Rising Community Service

●システム統合基盤構築プロジェクト推進

北海道・東北のシナジー創出と1兆円体制に向けたシステム基盤作り

●グループ内組織再編

ジョイスとベルプラスの統合準備を進行
道東ラルズと篠原商店の合併を検討

●「総攻撃」の継続

設備投資計画は過去最高額の108億円

●新新千日計画の開始

2015年3月1日～2017年11月24日

●物流センターを活用した新たな試み

道北アークスがDaMCを活用し小型店出店

我ら生活防衛隊
高志信頼団結で
一兆円を目指し
豊かな長寿社会
地方創生に資す。
平成27年元旦
社長 横山 清